# MUTSUBI



- 1. ごあいさつ
- 2. 委員会報告

総務委員会 業務委員会 開発委員会 事業委員会 意匠委員会 構造委員会 設備委員会

3. 作品紹介

「内野まちづくりセンター」(㈱コンフォルト

4. 事務所紹介

㈱シグマ設計

5. 趣味のひろば

酒井建築事務所

酒井 秀晴

# index

NcAU: Niigata city Architect Union 新潟市建築設計協同組合

目次 ・・・・ 1

であいさつ 理事長 松元 博文 ・・・・・ 2~3

副理事長 涌井 勝治・・・・・4

副理事長 丸山 健一・・・・4

委員会報告

総務委員会・業務委員会 ・・・・ 5

 開発委員会
 ・・・・・ 5~6

事業委員会 ・・・・ 6

**・・・・** 6~7

構造委員会 ・・・・ 8

設備委員会 ・・・・ 8

作品紹介 「内野まちづくりセンター」

(株) コンフォルト ・・・・ 9~10

事務所紹介 (株)シグマ設計 ••••• 11

趣味のひろば 酒井建築事務所 酒井 秀晴 ・・・・・ 12

# ごあいさつ

# 新潟市建築設計協同組合 理事長:松元 博文



いつもとは違う感覚を抱きながら、新年をむかえました。 たとえて言うならば、「正月(門松)は冥土の旅の一里塚、めでたくもあ り、めでたくもなし。」というような、なんとも複雑な心境でした。

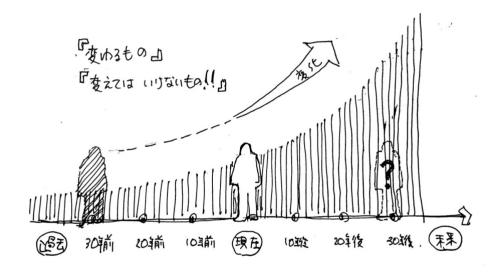
2016年国内では、「熊本地震」震度7(旧激震)ではじまり、「東北台風」(台風10号) そして年末の「糸魚川大火」と災害の多い一年でした。

世界情勢も激動の1年でした。英国の欧州連合(EU)からの離脱決定があり、米国では共和党のドナルド・トランプ氏が大統領選に勝利し、「反グローバル化」「格差拡大」等社会が極右と極左に分断される中で、グローバリズム、自由主義という基本的な価値観も揺らいでいるように思いま

す。

日常生活の中では「IoT」の言葉に代表されるように、情報技術(IT)があたりまえの世の中になり、あらゆるものにコンピュータと通信機能が搭載される時代がきています。

そして、今後はあらゆるビジネスで人工知能(AI)が活用されていく社会が目前に迫ってきています。 医療では人工知能による癌の遺伝子治療(精密医療)が行われ、2020年には、各自動車メーカー が人工知能(AI)を搭載した自動運転車の実用化を目指しているようです。



社会やビジネスの複雑性や変化スピードがこれまで以上に増しています。その結果、「50年以上もの未来を見据えた仕事」を基本とする建築設計者にとっては、「将来が不透明で視界不良の時代」に突入していると考えています。

このような社会環境の中で建築設計者は、そして建築設計者 の組織としての組合は「どこに 向かい・どのように歩みを進め

る」べきなのかを検討・共有してゆくこと、特に**「組合という組織であるからこそ生まれる価値」**を 最大限活用することが求められています。

具体的な第一歩は「未来像」です。不透明性が高い時代には、自らの現在位置を確認し、どこへ向かうべきかの方向感覚を持つことが必要となります。視界不良な時代であるからこそ、自分たちがどのようなライフスタイルや社会をめざし、そしてどんな職能者でありたいのかを、問い直し、確認・共有することが基本だと思います。

見えないからこそ、未来の青写真をまずは描

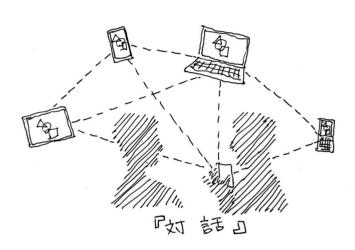
くこと、そして、必要に応じて何度でも描き直す気構えが重要だと思います。その時に大切なのは、 「**変えてはいけないもの」を意識しつつ、「変わるものへの対応」を意図をもって準備**しなければい けないということです。

特に組合がこれまで多くの公共建築に携わってきた経緯からも、「公共建築に対する未来像」をもつということは不可欠です。

そのためには「自己教育」です。日々アンテナを張って様々なニュースに触れ、データを自分なりに解釈し、知恵を持った人と議論を重ね、新しいテクノロジーや計画手法を学ぶこと、そして**自らを教育し続けることが肝要です**。いくつになっても、常に自らを向上させ、時代の要請に応えようとする意志が必要です。

忘れられがちなことは「対話」です。情報技術(IT)の発展が多くの人々を容易に繋げることを可能としましたが、「人と人」「組織と組織」とが信頼関係を築いてつながることが難しくなってきたのは、対話が不足していたことが大きな要因です。意識的に自分と対極にある様々な職業や地域の人と対話を重ねることがますます重要になります。対話を欠くと、断絶を生み、社会の関係性が不安定になり、激動が生じます。

そして最後が「行動」です。複雑性が増し



ている状況では、ついつい立ちすくみがちになります。しかし、動かないと何ら問題解決ができない どころか、さらに状況が悪化していくばかりとなるものです。動くことで、複雑なものをひもとくヒ ントを得て、課題を構造化することができ、解決策を見いだせて、苦境を打破する端緒が開けます。 確実で具体的な行動が重要です。



2017年の組合は、委員会を中心として、組合員の皆様のご協力を頂き、「未来像」を描き、「自己教育」し、「対話」を重ね、「行動」を起こす年としたいと思います。

本年は、"未来を予言する最善の方法は、それを自ら創り出す事である。"をテーマに活動を開始したいと思います。

私個人としては、綻びのでた身体を大修繕・ 改造しながら、仕事の上ではもう一度「建築の 原点(変わるもの・変えてはいけないもの)」 へ向かって遡上してみたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

※「手考足思」:河井寛次郎(陶芸家)「足で思って、手で考える」知識偏重ではなく、からだ全体で論考せよ、実証せよ、という謂いである。

# ごあいさつ

# 新潟市建築設計協同組合 副理事長:涌井 勝治



ここ数年、公共工事の設計発注形態が変わり随意契約の減少が著しい中、難しい組合運営を強いられている状況ですが、松元理事長が語る「大切なのは、『変えてはいけないもの』を意識しつつ、『変わるものへの対応』を意図をもって準備しなければいけない」との心構えを自分なりに理解し今後の組合運営に取り組んでいきたいと思っています。

今年度から副理事長という大変重い役目をいただいた私自身がどれほど 組合運営に役立てるか甚だ疑問ではありますが、組合には先輩諸氏が積み 上げてくれた実績と積み立ててくれた財産があります。

それを有効に使わせていただきながら、ゆっくりゆっくり、焦らず騒がず 組合の運営の一助になりたい、またなるべく精進していきたいと思いますので、組合員の皆様のご指 導やご助言をよろしくお願いいたします。

# ごあいさつ

# 新潟市建築設計協同組合 副理事長:丸山 健一



今年度(平成28年度)の総会におきまして、新潟市建築設計協同組合の 副理事長に就任しました丸山です。組合設計者の代表として舵取りを行う、 理事長補佐としての重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。組 合員皆様のご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご承知の通り新規発注物件はプロポーザル方式の発注になり、随意契約をしていただけるのは耐震関連の業務のみとなっています。その耐震関連業務が一区切りを迎えた新潟市の状況を考えると、当組合の置かれている状況は推して知るべしということです。

さてこの時代の変化にどう対応するべきか?

松元理事長は就任挨拶で、「大切なのは、『変えてはいけないもの』を 意識しつつ『変わるものへの対応』を意図をもって準備しなければいけない」と話し、準備として以 下の3項目挙げています。

- ①どんな職能者でありたいのかを問い直し、確認・共有すること
- ②人的ネットワークを「組織や世代」を超えてつくる努力を惜しまないこと
- ③スキルの習得

まさにこの3項目は職能者としての根幹をなす重要な部分であると考えます。

また、「そんな『時代の潮目』であればこそ、しばらくの間『仕込み期間』と腹をくくり、腰を据えて準備することが必要な時期なのだと思っています」とも話し、これが今後の組合運営方針としています。

この厳しい状況下、この準備は遠からず、必ず実を結ぶことを信じ、理事長のこの基本方針に従い、 これからも今まで以上に組合員であることに誇りを持てるような組合組織づくりに励んでまいりたい と思います。

# 総務委員会 業務委員会

委員長:本間 裕之

## • 総務委員会

組合員の皆様には日頃から組合の事業にご協力いただき感謝申し上げます。

今年度の総務委員会の事業内容の中からいくつかの内容 について活動状況をご報告いたします。

#### 1. 平成28年度収支中間報告について

平成28年度の収支についての確認を行い、今年度の収支および決算見込みについて検討を行いました。 今年度は春先の設計物件の発注が止まり、組合にとって厳しい年となっていますが、夏以降補正予算の付いた物件の設計を受注することができました。今後の監理業務受注に向けての対応や方針を委員会で検討しています。

#### 2. 平成28年度組合員講習会について

今年度の組合員講習会を下記の日程にて開催しました。

日 時:平成28年11月24日(木)~ 25日(金)

会場:岩室温泉 「ゆもとや」内容:1.各委員会活動報告

2. 講演会

演題 「施設参謀」の視点と

せまりくるCM/PMの波

構師 川原 秀仁 様



H28年度 組合員講習会



「施設参謀」の視点とせまりくるCM/PMの波 講師 (㈱山下ピー・エム・コンサルタンツ 川原 秀仁 様

#### 3. 今年度プロポーザル事業について

今年度新潟市のプロポーザルについては「(仮称) 日和山住宅移転改築基本設計業務委託」、「新通小学校分離新設校建設基本設計業務委託」及び「(仮称) 万代・宮浦乳児保育園及び東地域保健福祉センター建設基本・実施設計業務委託」の3件に参加しました。 また、組合としての支援についても今まで通り参加者支援を行うことで決定しています。

#### 4. 大規模改造工事の設計料配分比率について

大規模改造工事の設計料配分比率については、今年 度設計物件の配分に使用できるように配分案を作成し ました。

#### 業務委員会

今年度の業務委員会の事業内容について活動状況をご報告いたします。

#### 1. 新潟市発注の大規模改造工事について

発注の止まっていた小・中学校の大規模改造工事の 設計が発注となり、1年目設計6校と2年目設計の2校 について担当事務所の選定を行うことができました。

また、1年目設計のまとめ及び成果品の統一性の確保を目的として、意匠・構造・電気・機械の各設計の総合監修業務の担当者を選定しました。

#### 2. 新潟市の特殊建築物等定期点検業務について

新潟市の特殊建築物等定期点検業務で、幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校の平成28年度分として55校分の定期点検業務の担当事務所を選定しました。

# 開発委員会 委員長:渡辺 純一

今期より開発委員長を拝命いたしました渡辺と申します。 至らぬ点が多々あると思いますが、一生懸命務めさせてい ただきたいと思いますので、ご指導の程、よろしくお願い いたします。

開発委員会では、現在の当組合の受注する新築や耐震改修工事の設計監理業務の減少より、これに代わる新たな業務を生み出すため、業務開拓をテーマとして活動していきたいと考えています。そのためにも、これまで先達たちが続けこられた市(担当課)との対話(情報交換)を継続していければと思います。

現在までの活動としましては、まず公共建築第1課よりプロポーザルについて、より多くの提案をしてもらうにはという照会があり、組合内意向調査を実施し、それについて報告させていただきました。その際、組合員の皆様には多大なご協力いただきましたことをこの場を借りしまして感謝申し上げます。また教育委員会施設課と、これまでの定期点検報告の内容について協議・見直しを行い、本年度より定期点検業務を受注することとなりました。これについては特別委員会が立上り、現在業務を進行しているところです。

引き続き市との対話を継続し、将来的な受注に繋げていけるよう模索していければと思います。



H28年度 学校施設定期点検調査業務委託説明会 2016.12.02

## 事業委員会

委員長:斎藤

今年度より事業委員長を務めさせていただく事となりま した、櫛井設計の斎藤です。よろしくお願いいたします。

事業委員会で掲げた活動方針のひとつ、『新潟市建築計 画・設計技術研究会を活用した研究会の実施』について活 動状況をご報告いたします。

今年度は昨年度実施されたWG活動について下記2つの 視点で検証を進めております。

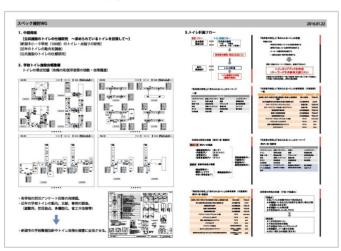
- 1. 実務や将来に向け有効な研究内容を目指す
- 2. 官民共同研究の場を継続して行くために

今年度中に検証結果を取りまとめ、報告書として新潟市 へ提出することを目指しております。

12月19日には座長である公共建築第1課岸本課長補佐を はじめとした新潟市職員の方々6名と、組合員4名による 「意見交換会」を開催しました。

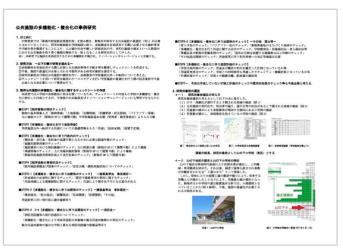
その際には、官民で協力して研究を進められた点を評価す る声や、WGで作成した資料の周知方法、研究課題選定の 方法など今後の課題についても意見が出されました。また、 岸本座長からは『新潟市建築計画・設計技術研究会』を継 続していく為に、今後も意見を交わしていきたいとの言葉 があり、「官民共同研究」の場としての本研究会の意義を 改めて感じました。

今後はWG参加者へのアンケート実施を行い報告書とし て取りまとめ、来年度より新たな研究会を発足できるよう 活動してまいります。



WGまとめ「公共施設のトイレの仕様研究」

※WGまとめについて詳しくは組合HPをご覧ください。



WGまとめ「公共施設の多機能化・複合化の事例研究」



WGまとめ「歴史的なまちなみを生かした地域の活性化について」

# 意匠委員会

委員長:渋谷

日頃より意匠委員会の活動にご協力をいただき大変あり がとうございます。今年度の事業報告をさせていただきま

意匠委員会は、昨年度までの技術委員会の後を継ぐこと に加え、すまいづくり教室の受託にかかる市との協議を担 う委員会です。

今年度は、組合で受託した業務の効率化や省力化を技術 的な面でバックアップできるようなテーマをピックアップ して勉強し資料をまとめてきました。これについては、実 務者講習会で皆様に情報提供いたします。また、すまいづ くり教室も昨年度より良い条件で受託することができ、す まいづくり特別委員会(上山委員長)により、8月~12 月の期間に無事終了したところです。

1. 委員会開催と協議内容

第1回:平成28年7月1日(8名出席)

・今年度の遂行事項・取り組むべき課題

について協議

第2回:平成28年8月24日(6名出席)

すまいづくり教室の進行報告、 遂行事項と担当者決定

勉強会(省エネ法、外壁アスベスト除去)

第3回:平成28年10月19日(5名出席)

委員会遂行項目と担当者の進行報告

第4回:平成28年12月7日(7名出席)

• 実務者講習会の内容と役割分担を協議

#### 2. 取り組んだ課題と成果

①すまいづくり教室

受託金額増と印刷経費の減額、過去資料利用による作業の省力化

②設計図書審査報告書

内容照査の実施と項目の確認をし、改訂版を作成

③改正省エネ法

勉強会・講習会参加を実施し、設備委員会と共 同で実務者講習会を開催

③勉強会

新商品や新工法の調査検証 改正省エネ法についての調査・情報共有 外壁アスベスト除去の実例報告

④業務サポート資料の作成 共通費積算ソフトの探索 解体及び産廃処理の共通単価作成

					すま	いつくり	教室	工程表					平成	28年度する	いづくり教	2:新潟市美	主要放射管	阿相台		平成	18年9月15
Я		8月			9月					10月				11月					12月		
B	1~6	7~13	21-27	28~31	1~3	4~10	11~17	18~24	25~30	1~8	5~15	16~22	23~31	1~5	6~12	13-19	20~26	27~30	1~10	11~17	18~
		<b>自当者决定、</b>	模芸書の協	議-作成					白7-400	1-019/83	t	本1対策室2	A1-101-6/202								
上山 寅		はじめての家づくり			内容作成期間				修正 再提出 10/12(水		講座1 10/22(土)										
山口 正人		住宅の寿命とライフサイクルコスト			内容作成期間 9/27 (余)					講座2 10/22(土)											
市野県民治		すまいの資金計画			内容作成期間				#EZ		講座3 10/22(土)										
									9.15~		15:00~	12:30集会									
高州尚人		地震に強い家づ(り)				内容作成期間				Hat.	修正		講座4 10/29(土)								
ma x		ブランコ	ングのいろ	t.		内容作成期間				10/4	修正	再提出 10/19(水)	講座5 10/29(土)								
大江 利酒		環境にやさしいすまい			内容作成凝閉				100	SE		講座6 10/29(土)									
										9:00~		15:00~	12:30集会								
na e-		リフォー	リフォーム成功の鍵 内容作成期間									修正		講座7 11/12(土)							
本間 裕之		耐震改修のすすめ 内容作成期間					WIN			提出 10/20(木) 修正		再提出 11/2(水)	講座(1 11/12(土)								
28 7		すまいのパリアフリー対策			内容作成期間						修正		洪庄9 11/12(土)								
												9:00~		15:00~	12:30集台						
大越 査		メンテナ	ンスのポイ	<i>/</i> +	内容作成期間					<b>原出</b>			SE	再提出	講座10 11/19(土)						
中野 元		エコで快速な暮らし				内容作成凝開						10/26CR	修正 11/90(6)	課産11 11/19(土)							
													9:00~		15:00~	12:30集会					
																		報告書作	¢	提出 12/12(金)	
用金												上山	Ŀw		上山	Ŀш					
受性												中野	大江		食器	音器					

H28年度 すまいづくり教室 スケジュール表



H28年度 すまいづくり教室



外壁アスベスト除去



新商品勉強会

#### 改正省エネ法に関する意匠委員会資料

- 何回か改正されて来た省エネ法が平成28年度で廃止となり、平成29年度から、建築物省エネ法に置き換わります。
- 2. 省エネ法と、建築物省エネ法での比較概要での大きな変更点は以下によります。

省エネ法 建築物省エネ法

大規模建築物 届出義務 → 適合義務 (非住宅のみ) (2,000 m以上) (確認申請に連動 (選判)) 中規模建築物 届出義務 → 届出義務 → 届出義務

その他、省エネ法に基づく、修繕、模様替え、定期報告制度は H29.3 で廃止

- 3. 上記省エネ法の適合性判定は、構造の適合性判定と同じような流れとなります。
- H28.7~8 月に概要説明会が、H28.10~H29.2 月に申請者向けの詳細説明会が、全国 47 ヶ所 150 回開催予定です。
- 計算支援プログラムの扱いについては、建築物省エネ法に以降後も、現行の省エネ法のソフトの使用が可能です。

Web プログラム(国立研究開発法人建築研究所)

- ・エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)Ver.2
- ・エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.2
- ・モデル建物法入力支援ツールVer.2

H28 より、モデル建物法の延べ床面積 5,000 州以下の規模用件が撤廃され、あらゆる用途でのモデル建物法の適用が可能となっています。建築物省エネ法に移行後も適用可能。



改正省エネ法勉強会

## 3. 実務者講習会の運営

組合員が業務に本質的に役立つ実務者講習会となるよう計画しました。実務作業の効率化や省力化が図れることと、初めてでも円滑に設計作業を進められるようにするための資料を委員会で取りまとめてきました。その内容を皆様にお伝えする場となるよう考えました。また、プロポーザル物件の経過報告も行います。今後の設計活動に役立つことができれば幸いです。

来年度は技術的なレベルをもっと高めていけたらと考え ていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

# 構造委員会

委員長:長橋 鐵雄

今年度から梶井前委員長に代わり構造委員長を拝命いた しました。理事長の組合運営方針のもと委員会活動を計画 し半年ほど過ぎましたが、半年の活動を報告いたします。

平成28年7月1日(金)に「合同委員会」で、活動方針 を協議しました。

- 1. 新潟市からの要望対応
- 2. 構造監理業務に伴う調査研究
- 3. 次世代構造技術者の育成

上記の内容を活動方針としましたが、大規模改修に伴う 便所改修の構造床について協議・検討が急務である事から、 委員会を開催し協議・検討を行いました。

平成28年10月5日(水)第1回構造委員会、平成28年10月31日(月)第2回構造委員会の2回開催し、便所改修の取り決め事項を確認しました。

# 1. 共通注意事項

改修後の床荷重の増加は認めない。

#### 2. 改修床仕様 3パターン

①FL-便所床スラブ段差が200mm程度の場合 (押えコンクリート)便所スラブの上にスタイロ フォームを敷き、上に100mmのコンクリートを 打設する。上部コンクリートによる応力分散効果 により既存鉄筋の切断は許容する。

②FL-便所床スラブ段差が200mm程度の場合 (木床組・鋼製床)で、仕上げと既存スラブの間 に有効な寸法があり、設備配管を転がし配管によ り既存スラブの鉄筋を切断しないで配管できる場 合は補強の必要はない。

③FL-便所床スラブ段差が80mm程度の場合 重量増となるため押えコンクリートは不可である。 新設便器のスリーブにより既存スラブの鉄筋が切断 され安全が確保できない。炭素繊維プレートによる 補強を行う。

改修内容は平成28年11月24日(木)組合員講習会で の委員会活動報告で説明しました。

## 床スラブ、開口部への適用





炭素繊維プレート補強例

公共建築第2課との協議は、平成28年11月10日(木)に改修床の仕様を説明しました。その後、質疑・回答をメールで送付し、①、②の仕様は問題なく、③は現場での設計変更での対応となっています。

今後は、炭素繊維プレート補強の作業内容を組合員に説明できる資料作成を、構造委員会でまとめたいと考えています。

## 設備委員会

委員長:伊藤 徹

設備委員会の活動内容等を報告させていただきます。 皆様ご承知とは思いますが、本年4月より省エネ法が改正されます。

主な内容としては、300㎡以上の建物は全て届出が必要となり、2000㎡以上は基準値に対して適合することが求められます。

適合性判定をクリアしないと建築確認申請が通らなくなり、 一段と省エネ法の重要性が増した形となっています。

また、完了検査においても建築主事の検査対象となっており、現場監理については十分な調整と確認を行う必要があります。これは、設計者と監理者が同じでないと機器仕様・制御仕様の調整・確認がより難しくなってきたものと考えられます。

法律の変更直後はスムーズな対応が出来ない場合も多々 有りますので、組合員の皆様が確実な内容理解と知識習得 に努められるように、努力をしていきたいと考えます。 実務者講習会等の機会に、皆様に説明していきたいと思い ます。

> 建築物省エネ法に係る 適合義務(適合性判定)・届出マニュアル

> > 平成28年12月1日時点版

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 一般社団法人 住宅性能評価・表示協会

省エネ法テキスト表紙

最後に、昨年秋に実施しました建築設備技術講習会には 大勢の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。



建築設備技術講習会

# 作品紹介

# 「内野まちづくりセンター」 (株)コンフォルト



## ■ 設計趣旨

内野地区は新潟市内のベッドタウンとして人口が増加してきましたが、地域活動等に利用可能な公共施設が少なく、活動場所の確保に不自由していました。そこで新たな地域活動の拠点となる集会施設と行政施設(西出張所、西地区保健福祉センター)が一体となった複合施設を設計することとなりました。



西側外観



北側外観

## ■ 配置計画

敷地は内野駅から近い、駅東側にあり、3方は市道、 もう一方は公園に隣接しています。季節風を考慮して、 メイン玄関は南側に配置しました。駐車場は南北に2 ヶ所設け、各道路からアクセスでき、建物周囲には回 遊できる通路を設け、上部に庇を設けることで、雨や 雪に濡れることなく施設内へ入れる計画としました。



配置図

## ■ 平面計画

平面計画は主に1、2階を行政施設の西出張所、保 健福祉センター、3階を集会施設として、関係諸宰を 明確にエリア分けをしつつも、待合ホール、会議室、 トイレなど一部を共有とすることで建物をコンパクト 化して、施設の利便性が高まるように計画しました。 1階交流スペースは上部を吹抜とし、外壁面には大開 口部を設け、テラス、集いの広場と一体として利用で きるよう開放的なスペースとして計画しました。



テラス

交流スペース

#### ■ サイン計画

地域性を表現するため西区のイメージカラーである 「サンセットオレンジ」を基本に、日本海、新川をイ メージした「ブルー」、内野小学校に代表される桜を イメージした「ピンク」を各階ごとに使用し、地域住 民に愛され、誇れる施設となる様に計画しました。





1階 ELV

2階 FI V

3階 ELV



機能訓練室 歯科健診室 診察室 健康相談室 待合ホール 小会議室 保育室 多目的ル

研修室 調理室 音楽室 男子使所 ホワイエ FI V± - II 研修室 研修室 研修室 研修室 軽運動室

1階平面

2階平面

3階平面



1階 事務室

2階 子供便所



3階 ホール

#### 建築概要

建設場所:新潟市西区内野町413

用途地域:近隣商業地域 防火指定: 準防火地域 敷地面積: 2,710.04㎡

建築面積:1,101.02㎡(屋根付き駐車場を含む) 延床面積:3,161.56㎡(屋根付き駐車場を含む)

規模構造:鉄骨造、地上4階建

主要外部仕上

屋 根:塩ビシート防水

外 壁:中空押出セメント板、フッ素樹脂エナメル塗

開口部:アルミサッシ (Low-e t5+t5)

主要内部仕上

床 : ビニル床シート、複合フローリング 壁:GB-Rt12.5+9.5、ビニルクロス貼 天 井: GB-Rt9.5+DRt9.0

電気設備

受電方式:高圧受変電方式

防災設備:非常照明 自動火災報知設備

空調設備

冷暖房方式:GHP

衛生設備

給水方式:直結 排水方式:公共下水道 消火設備:屋内消火栓 ガス設備:都市ガス

設計・監理

意匠:(株)コンフォルト 構造:(株)S • U建築設計 電気:예総合設備設計 機械:예総合設備設計

# 事務所紹介

# (株) シグマ設計

弊社は昭和57年に創業し、今年で36年目を迎えます。

開設当時は新潟市万代に事務所を設けましたが、駐車場が思うように確保できない事と、この頃にはFAX・CADが普及し始め事務所が郊外でも問題がなくなったため、平成元年に新潟市南側の亀田町に隣接する姥ケ山へ移転しました。

移転当時の周辺は東新潟病院・住宅地が混在する地域でしたが、最近は近傍に高速道路新潟亀田IC、大型商業施設や 書店もあり利便性の良い所です。

社名の由来は、意匠・構造・設備の調和のとれた総合的な設計をしたいという思いが込められており、総和を意味する記号「 $\Sigma$ 」が会社の $\Box$ ゴです。

開設当初は保育園・福祉施設など公共建築物の設計や消防署の競技設計もあり、中には寺院の設計もありました。平成13年頃からは耐震診断・補強設計業務が多くなりました。学校・役所庁舎・警察署・共同住宅・集会場等、約100棟の建築物の耐震診断・補強設計を行い、平成19年頃からは新たにこれらの監理業務も加わりました。



事務所移転当時の外観写真



消防署(競技設計)

事務所スタッフは、所長+職員2名の計3名です。(年の差30歳のため親子と間違えられる事もしばしば…)時折仕事以外の事も楽しく話しながら設計業務を進めています。

事務所の1階は駐車場、2階部分が業務スペースとなっており、所長こだわりのEIZOのモニター5台体制で日々の業務に取り組んでいます。業務進行中は雪崩が起きる程の書類の山の中で仕事をしているため、たまに大掃除をしてデスク周りがスッキリすると何だか落ち着きません。



事務所と共に生長するサボテン

また事務所内の一角には、移転当初から28年間癒しと時には針の様な緊張感を発しているようなサボテンが今も元気に生長し続けています。

今後は耐震診断業務も一段落しますが、常に技術力の研鑽に努め、 設計業務に励みたいと思います。

組合員の皆様、今後共よろしくお願いいたします。

# 趣味のひろば

# 酒井建築事務所 酒井 秀晴

原稿依頼をいただき、超マイナースポーツであるヨット競技を皆様に紹介できる良い機会ではないかと思い依頼を引き受けました。

『人と自然のパワーゲーム』であるヨット競技(現在はセーリング競技と呼ぶ)は身体能力だけでなく、艇を速く走らせる技術、風を読む能力や戦術など、複雑な要素が凝縮され詰まっており、それがヨットレースの楽しみでもあります。力学上、真風上に進めないヨットは風上45°方向にジグザグに進むことにより、風上の目的地(マーク)に到達します。海面状況に合わせて角度とスピードのバランスを取りながら、風の強く吹いている海面を探し、交差する権利艇を避けながら右図のようなコースを同時にスタートして、ゴールを目指すのがヨット競技です。

高校では部活をやっていなかった私は、ヨット部ならば同じスタートラインに立てるのではないかと思い入部しました。その時はバリバリの体育会系の運動部ではないと思ったのですが、3年生に厳しい先輩がおり、おかげ様で入部翌年インカレ加入、4年時の私達の代では3部20校中2位で2部校に昇格し、私の成績は60艇の

出走で5レース中2回TOPフィニッシュという成績でした。(私の65年の人生で一番の自慢ですが、就職活動にすっかり乗り遅れ、受けた企業はすべて落ちて②)



青森国体470級スタート

新潟に戻って、社会人クラブを作り、国体を目標にほとんど毎週寺泊通いで、青森国体(26歳)では6位入賞を果たしました。山形国体(42歳)でほぼ一線を退いてからは、年数回の出艇となっていましたが、少し時間もとれるようになり、ここ数年は35歳以上が参加可能なマスターズを目標に頑張っています。マスターズには現役世代のカリカリとした緊張感はなく、キャンプやレセプションを楽しみに全国からセーラーが集まってきます。レースでは私より高齢の人が風速10mの風の中を平気で走る選手もおり、風速5mを越えたら帰ってくることにしている私にとっては雲の上の存在です。

コース図

なんとなく始めたヨットがこんなに長く続けられるとは思ってもみませんでしたが、これからも健康維持の為にトレーニングに励み、できるだけ多くのレースに参加することを目標に頑張りたいと思っております。

趣味の紹介にしては少し力が入り過ぎ反省です。



カートップして遠征



レース風景



レーザー

# 組合行事写真

●H28.5.20 第33回通常総会











# ●H28.11.24·25 組合員講習会















## 表紙紹介

表紙の写真は、イギリスの建築家ノーマン・フォスター(1935年生まれ)設計のロンドン市庁舎です。 2002年に建設され、今でも多くの見学者が来庁しています。

建物は南に向かって上体を傾け各階は下に行くにつれて内側に後退しているため、上の階がすぐ下の階の自然な日除けの役割を果たしています。

ソーラーパネルを屋根に取り付け、ビル内は自然通風でエアコンは地下水を利用しその水はトイレで利用されています。その結果エネルギー消費量は典型的なオフィスビルと比べ1/4と言われています。

フランク・ロイド・ライト設計のグッゲンハイム美術館のようにEVに乗り、最上階より螺旋階段を歩きながら降りて来ますと執務空間がガラス越しに見え、そしてオープン化された議会に到着します。写真は螺旋階段を下から見上げて撮った写真です。

フォスターは現在81歳ですが、アメリカのシリコンバレーでアップルの本社ビルを建設中です。直径が1マイル(1.6km)ある巨大な円盤状の形をしており、まるで森の中に宇宙船が舞い降りたような本社ビルを建設中で、老いても若さあふれる建築家です。竣工が遅れているようですがとても楽しみです。

設計: ノーマン・フォスター(英人) ロンドン市庁舎(2002年) 表紙撮影(2016年9月): 意匠委員会 委員 羽二生 道夫

編集後記・事務局だより

毎日厳しい寒さが続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。 今年も素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

突然ですがこの編集後記をお借りして組合事務局の紹介を少ししたいと思います。

今年5月末で私が入社当初からお世話になっていた前専務神田さん、前常務番場さんが退職されました。私はこの組合に来てまだ3・4年しか経っておらず、まだまだ分からないこともあります。(汗)それなのに「ふたり同時にいなくなってしまうなんて・・・どうしよう・・・」と内心不安でいっぱいでしたが、6月からは現在の南澤専務、二階堂常務が来られ思っていた不安も全くなく毎日笑いの絶えない明るい雰囲気の中で業務をしています。

さて、組合にはHPがあることは皆様ご存じかと思いますが、組合員専用サイトがあることはご存じでしたか?「知らなかった!」という方はまずログインをお願いします。

専用サイトには各種様式をダウンロード出来たり、組合員講習会など組合行事の写真を掲載しております。今後こんなコーナーを載せてほしい等ご意見がありましたらお気軽に事務局までお知らせください。

長くなりましたが、編集後記に戻りたいと思います。

編集作業をする度に思うことは、睦びはどのくらい組合員の皆様に周知されているのか?ということです。 あまり知られていない様ですと、忙しい中原稿を作成していただいた方々もそうですが、編集している側と しては少しさみしい気持ちです・・・(ついぼやいてしまいました・・・すみません(汗))

これからは沢山の方々に楽しんでもらえて、「待ち遠しい」と言っていただけるような機関誌を目指して行けたら…と思っています。

もっとこんなことしたら読みたくなる!等なんでも結構ですので、事務局までご意見・ご感想をお寄せください。また、睦びの表紙写真もまだまだ募集しておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

最後に、今回原稿を作成してくださいました皆様お忙しい中作成いただきありがとうございました。とても良い内容が沢山つまった1冊が出来たと思います。

編集後記:事務局 髙橋

新潟市建築設計協同組合	
機関紙「睦び」 46号	